

天草市 栖本地域まちづくり計画 【概要版】

地域の概要

面積	人口	世帯数
32.89km ²	2,158人	778世帯

本地域は、天草諸島内の上島に位置し、北側は有明町、西側は本渡地域、東側は上天草市松島町及び倉岳町と接し、南側は八代海（不知火海）に面し、町の約7割が森林に囲まれ、町の中央を天草で最大の河川“河内川”が流れ、南端は海に面しており、豊かで美しい自然に囲まれた地域です。

また、栖本諏訪神社、いげ神社、小ヶ倉観音、円性寺などの寺社を有し、太鼓踊りや獅子舞、とったかとこせいなどの本町独自の伝統行事が継承され、歴史的文化的資源が豊富にあります。

産業面では、豊かな自然資源の中で減農薬栽培の掛け干し米、イチゴ、サラダ玉ねぎなどの野菜、デコボン、温州みかんなどの柑橘類また、黒毛和牛や天草大王の畜産などの農産物が生産されている一方で、水産業では、鯛、車えび、をはじめとする養殖や、ちりめんなどの水産加工の製造が営まれています。

【管内地区振興会】○栖本地区振興会



年神社（いげ神社）

由来：人柱となって町を救った“お年”さんを祀った神社で、命日の旧暦8月15日にいげ神社祭りが行われている。また、入学試験、家内安全、健康などの願い事等、霊験あらたかな神として町内外からの参拝者も多い。

地域の現状及び課題

本地域においては、人口減少や少子高齢化の進展により、地域での支え合いや防災対応等の地域コミュニティの重要性が改めて再認識されているところです。それに加えて基幹産業である第1次産業の衰退により、生活が安定しない厳しい状況であります。このような現状を背景として、住民一人ひとりの主体的な取り組みを基本とし、地域住民総参加のまちづくりを推進するにあたり、以下のような特色及び課題があります。

部門	特色	課題
産業経済	○農産物が豊富 ○豊かな地域資源	○耕作放棄地が多い ○基幹産業の後継者不足 ○有害鳥獣による農作物被害の増大
観光 ・ 文化	○郷土芸能が盛ん ○豊かな自然が多い ○地域のイベントが盛ん	○伝統芸能の後継者不足 ○資源の活用・PR不足
地域振興 ・ 教育	○スポーツ活動が盛ん ○ボランティア活動が活発 ○イベントへの取り組みが積極的	○空き家、危険空き家の増加 ○地域リーダー育成や世代交代が進まない ○イベントへの参加者の減少
保健・医療 ・ 福祉	○高齢者サロンが充実 ○健康づくりの意識が高い ○教育環境が整っている	○高齢者の一人、二人暮らしの増加 ○公共交通の減少による高齢者の病院等への移動が不便
生活環境 ・ 防犯防災	○交通安全・防犯活動が活発 ○防災意識が高い ○自然環境保全の意識が高い	○非常時の避難に不安がある ○消防団員数の減少

めざす地域の姿

みんなが主役！絆深まるまちづくり

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、地域と人が輝くいきいきとした個性あるまち栖本づくりを推進します。

具体的な行動計画

1 ゆたかな生活を創造するまちづくり【産業経済部門】

○カッパ伝説等の地域資源に着目し、栖本町だけの商品開発を検討するとともに、既存の商品（オリジナル焼酎・ストラップ）の販路拡大を図る。
○農地の集積・生産拡大・農地荒廃を防ぐために集落営農法人設立の支援を行う。
○耕作放棄地を利用して新たな作物を作付し新商品を開発する。

2 地域の特性を活かすまちづくり【観光・文化部門】

○栖本温泉（かっぱロマン館）を活用して、地域資源（遺跡や旧跡）を活かしたウォーキングを開催し、交流人口の増加を図る。
○新白洲一般廃棄物最終処分場跡地の有効活用を図る。
○栖本かっぱ祭りを開催し交流人口の増加を図る。

3 心豊かで、思いやりのある人がいるまちづくり【地域振興・教育部門】

○町民総参加の町民体育祭を開催し住民の親交を図る。
○ふるさと会交流を図り空き家対策による移住者を受け入れる
○コミセン祭り、寺子屋体験学習により青少年健全育成に努める。

4 みんなで支え合い笑顔の輪をつなぐまちづくり【保健・医療・福祉部門】

○地域住民に対し、高齢者を支えるための講演会を実施する。（栖本こころの講演会）
○敬老会の開催。

5 地域住民自ら守り続けるまちづくり【生活環境・防犯防災部門】

○自然豊かな環境保全のため河川清掃を実施し、地域住民の自然環境保全に対する意識の向上を図る。
○各地区自主防災組織による防災訓練を実施し、地域住民の防災に対する意識の向上を図る。
○花木の植栽を行い美しい景観づくりを行う。